

国際環境NGOグリーンピース・ジャパン 『PEOPLE vs PLASTIC!』 日本版説明資料

グリーンピース・ジャパン
2024年4月4日

<調査方法>

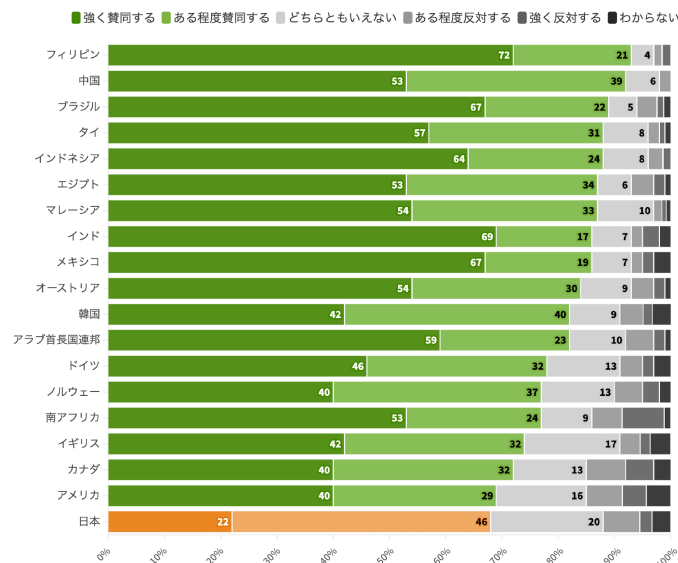
対象：一般消費者1万9088人（各国約1000人）（16歳以上の男女、10代刻み）
 地域：19カ国（オーストラリア、ブラジル、カナダ、中国、エジプト、ドイツ、インド、インドネシア、日本、マレーシア、メキシコ、ノルウェー、フィリピン、南アフリカ、韓国、タイ、アラブ首長国連邦、イギリス、アメリカ）
 方法：グリーンピースがCensuswide社（注1）に委託してオンラインで実施
 時期：2024年2月16日（金）～26日（月）

グリーンピース報告書『PEOPLE vs PLASTIC!』（英語版）は[こちら](#)

<調査結果>

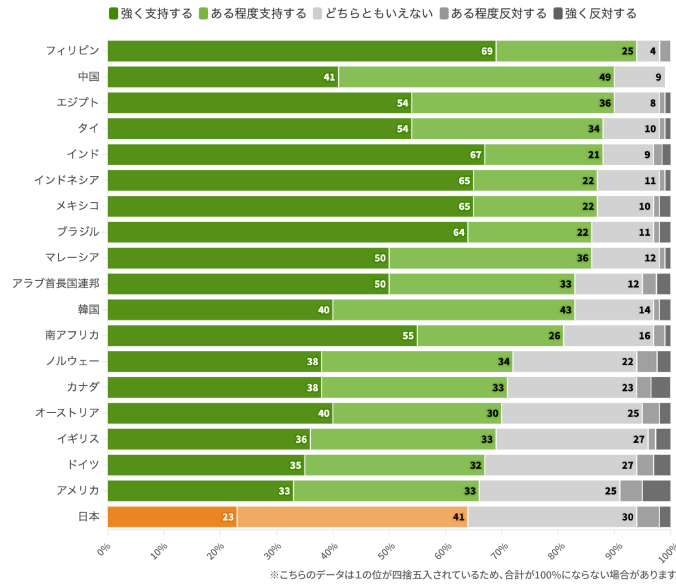
1. 回答者の82%が、プラスチック汚染を止めるにはプラスチック生産量を削減する必要があることに「強く賛同する・ある程度賛同する」と答えた。日本の賛同数は68%で、そのうち強く賛同すると答えたのは22%だった。

Q1. 「プラスチック汚染を止めるには、プラスチック生産量を削減する必要がある」ことについて、あなたはどの程度賛同しますか？



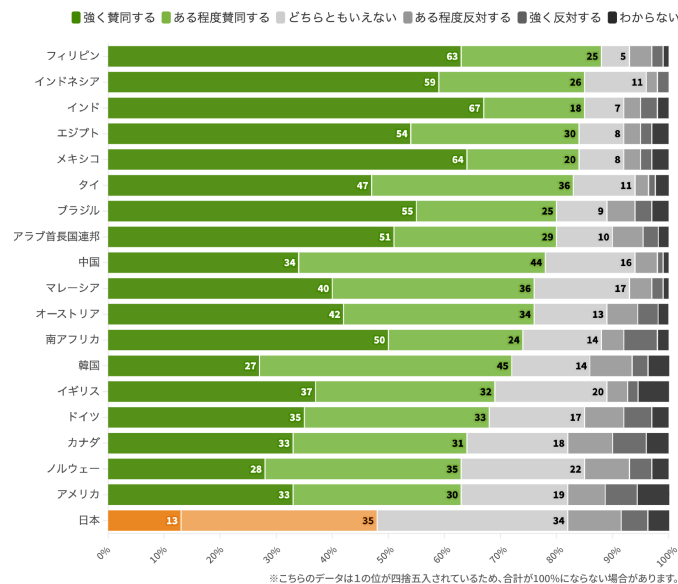
2. 回答者の80%が、気温上昇を1.5度以下に抑え、生物多様性の損失を止めるために、プラスチック生産の削減に合意する国際プラスチック条約を「強く支持する・ある程度支持する」と答えた。日本の賛同数は64%だった。

Q2. 気温上昇を1.5以下に抑え、生物多様性の損失を止めるために、プラスチック生産の削減に合意する国際プラスチック条約について、あなたはどの程度支持しますか？



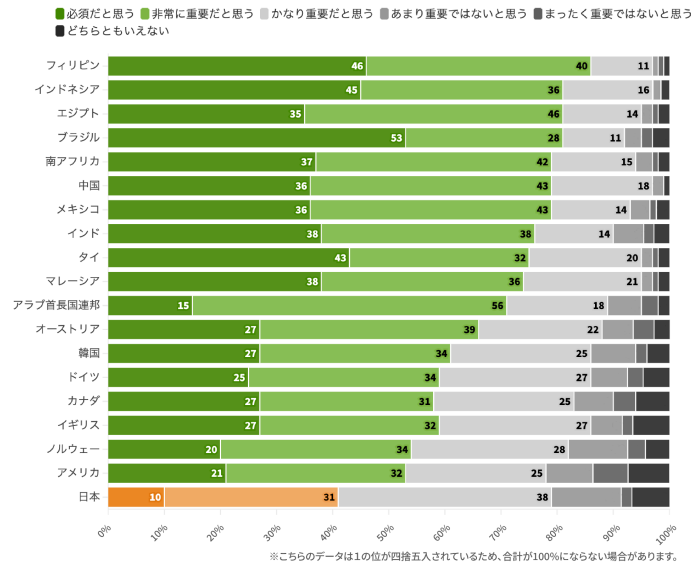
3. 回答者の75%が、国際プラスチック条約は使い捨てプラスチック包装を禁止しなければならないことに「強く賛同する・ある程度賛同する」と答えた。日本の賛同数は47%で、そのうち強く賛同すると答えたのは13%だった。

Q3. 「国際プラスチック条約は、使い捨てプラスチック包装を禁止しなければならない」ことについて、あなたはどの程度賛同しますか？



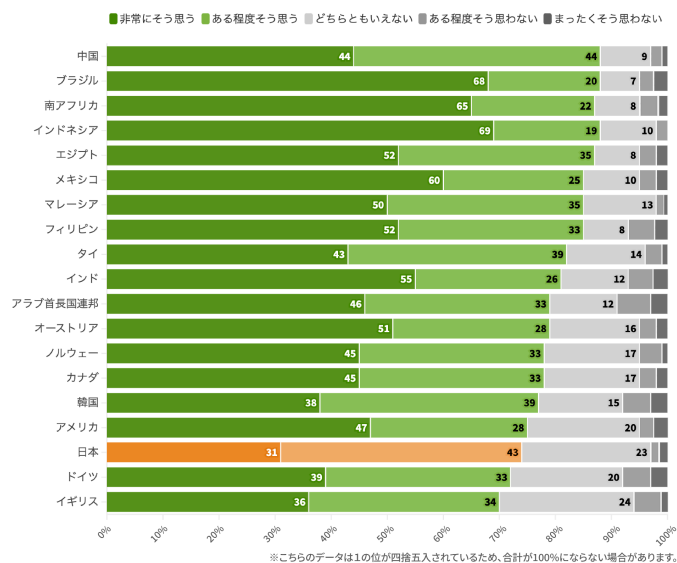
4. 回答者の90%が、使い捨てプラスチック包装からリユース・リフィル可能な包装への移行を各国政府や企業に義務付ける目標が国際プラスチック条約に盛り込まれることが「必須・非常に重要・かなり重要」と答えた。日本の賛同数は79%だった。

Q4. 使い捨てプラスチック包装からリユース・リフィル可能な包装への移行を各国政府や企業に義務付ける目標が国際プラスチック条約に盛り込まれることを、どの程度重要だと思いますか？



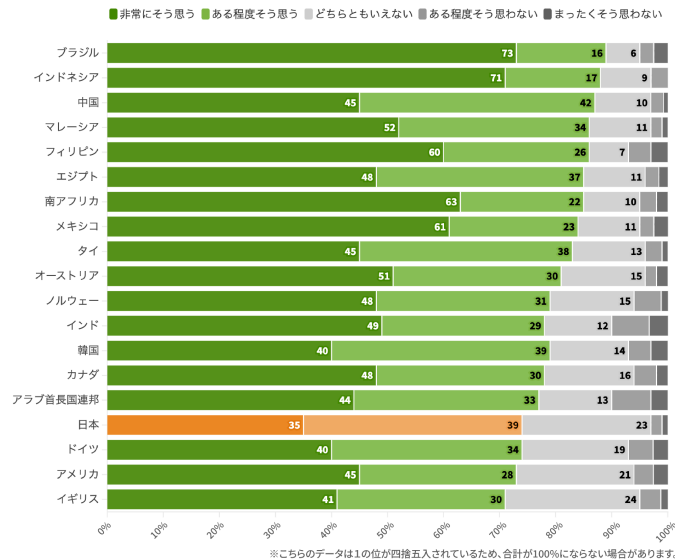
5. 回答者の81%が、もっと便利に利用できるのであれば、リユース・リフィル可能な包装（繰り返し使えるコーヒーカップ、自宅またはお店でリフィルできる洗剤やパーソナルケア商品など）を使用する可能性が高いと思う（非常にそう思う・ある程度そう思う）と答えた。日本の賛同数は74%だった。

Q5. もしもっと便利に利用できるのであれば、リユース・リフィル可能な包装（繰り返し使えるコーヒーカップ、自宅またはお店でリフィルできる洗剤やパーソナルケア商品など）を使用する可能性が高いと思いますか？



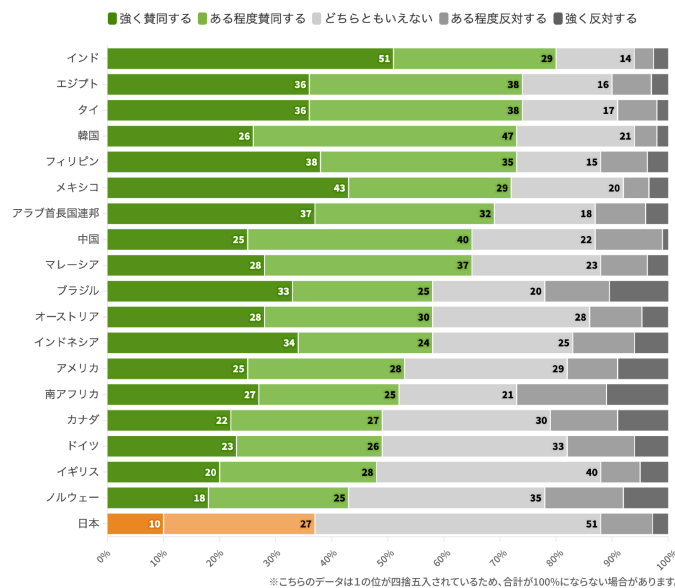
6. 回答者の81%が、もっとコストパフォーマンスが良ければ、リユース・リフィル可能な包装（繰り返し使えるコーヒーカップ、自宅またはお店でリフィルできる洗剤やパーソナルケア商品など）を使用する可能性が高いと思う（非常にそう思う・ある程度そう思う）と答えた。日本の賛同数は74%だった。

Q6. もしもっとコストパフォーマンスが良ければ、リユース・リフィル可能な包装（繰り返し使えるコーヒーカップ、自宅またはお店でリフィルできる洗剤やパーソナルケア商品など）を使用する可能性が高いと思いますか？



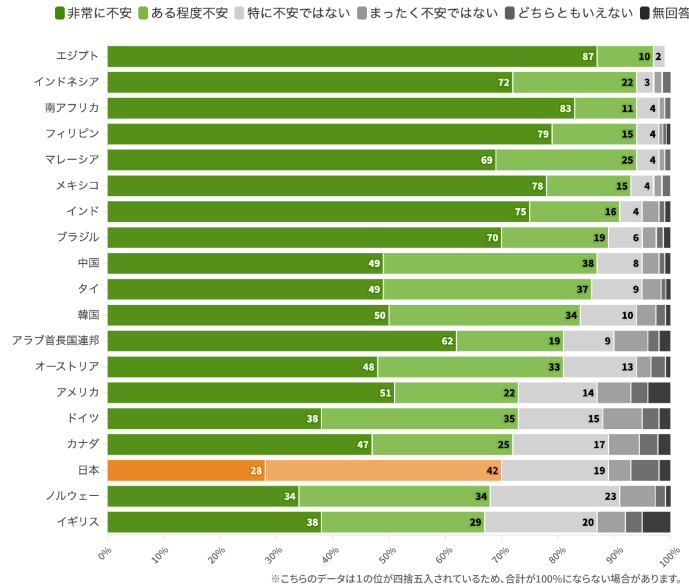
7. 回答者の60%が、国際プラスチック条約の交渉が成功するために、化石燃料や石油化学産業のロビイストは交渉に参加すべきではないことに「強く賛同する・ある程度賛同する」と答えた。日本の賛同数は36%で、「どちらともいえない」と答えた割合が51%ともっとも多かった。

Q7. 「国際プラスチック条約の交渉が成功するために、化石燃料や石油化学産業のロビイストは交渉に参加すべきではない」とについて、あなたはどの程度賛同しますか？



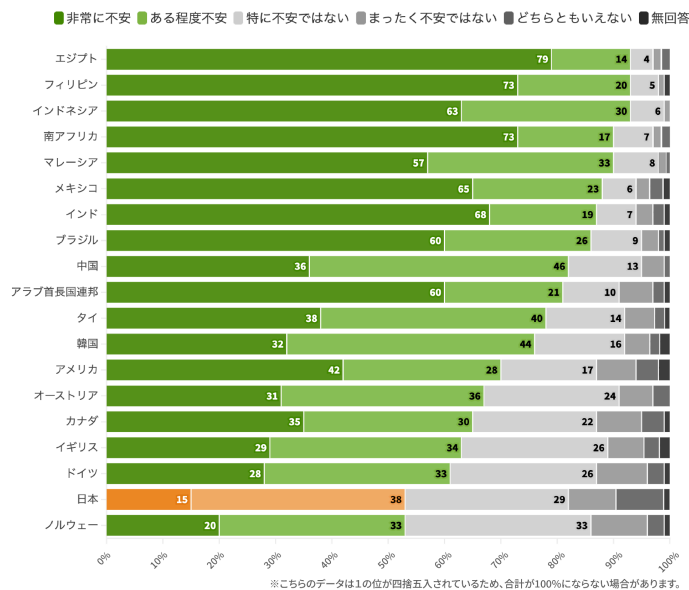
8. 回答者の84%が、子供の健康に対するプラスチックの悪影響について「非常に不安・ある程度不安」に感じていると答えた。日本で「非常に不安・ある程度不安」に感じている割合は70%だった。

Q8. あなたの子供の健康に対するプラスチックの悪影響について、あなたはどの程度不安に感じていますか？



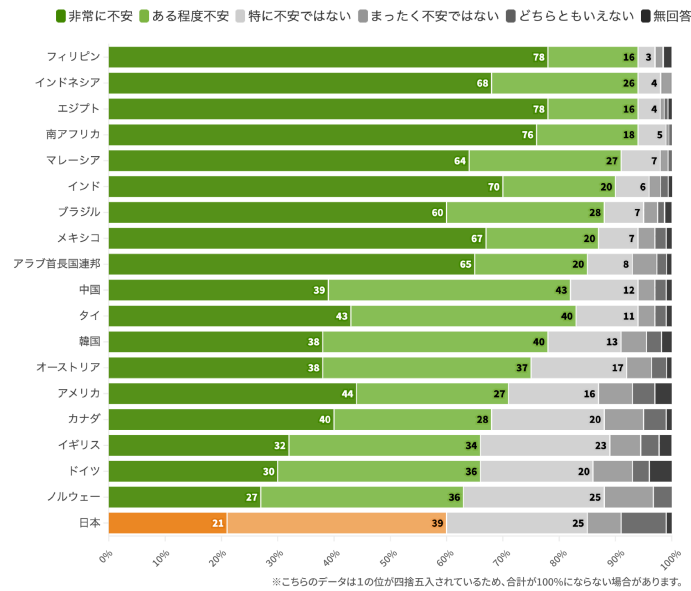
9. 回答者の77%が、自分自身の健康に対するプラスチックの悪影響について「非常に不安・ある程度不安」に感じていると答えた。日本で「非常に不安・ある程度不安」に感じている割合は54%だった。

Q9. あなた自身の健康に対するプラスチックの悪影響について、あなたはどの程度不安に感じていますか？



10. 回答者の80%が、大切な人の健康に対するプラスチックの悪影響について「非常に不安・ある程度不安」に感じていると答えた。日本で不安に感じている割合は60%だった。

Q10. あなたの大切な人の健康に対するプラスチックの悪影響について、あなたはどの程度不安に感じていますか？



(注1) [Censuswide](#)社はイギリスの市場調査会社。

以上